

めざそう、持続可能な未来を



かわごえ誠一オフィシャルサイト
www.kawagoeseiichi.com

葛飾区議会レポート

葛飾区議会議員 かわごえ誠一



かわごえ誠一 プロフィール

●1963年3月川崎市生れ ●立石在住34年 ●防災士
●PTA、子育てネットワーク、図書館友の会、三番瀬保
全活動などに参加 ●都議秘書を経て2013年区議
選初当選 ●2021年三期目当選 ●かつしか区民連
合副幹事長 ●区議会所属:建設環境委員会委員長
議会運営委員会・区民サービス向上対策特別委員会

令和5年葛飾区議会第一回定例会閉会

◆令和5年区議会第一回定例会が3月29日(水)に閉会し、過去最大規模(前年度比5.2%増)の令和5年度一般会計予算2,230億7千万円が議決されました。◆学校給食費無償化、児童相談所開設、带状疱疹予防接種の助成などが盛り込まれました。◆また、用地特別会計が設けられ、新小岩の私学事業団総合運動場用地の取得に向けた費用350億円が計上されました。

◆**かつしかSDGs推進計画策定** ◆3月22日の区民サービス向上対策特別委員会に「かつしかSDGs推進計画」が報告されました。2030年のゴールに向け7つの未来プロジェクトで取り組みが進められます。

◆**くらしのまるごと相談窓口開設** ◆8050問題やヤングケアラー等、複数の課題が絡み合ったり、制度の隙間にある課題を抱えた方を包括的に支援する体制が整備され、5月より相談窓口が開設されました。

◆**くらしのまるごと相談窓口** 電話03-5654-8560 ※月～金(祝日年末年始除く)8:30～17:00

第一回臨時会・第一次補正予算

◆令和5年区議会第一回臨時議会が4月25日(火)に開催され、令和5年度第一次補正予算35億1,757万円が議決されました。◆物価高騰対策等として住民税非課税世帯など低所得世帯に一世帯当たり特別給付金3万円が、また、ひとり親世帯及び低所得の子育て世帯向けとして子ども一人当たり特別給付金5万円が給付されることになりました。

◆**京成本線荒川橋梁架替事業起工式** ◆荒川左岸堤防の京成本線荒川橋梁部分が周囲より3.7m低く、水防上大きな課題となっていました。国土交通省と京成電鉄により橋梁架替事業が着手されることになり、2月4日に起工式が行われました。橋梁架替事業は令和19年度に完成予定とされています。

祝 京成本線荒川橋梁架替事業起工式



京成本線荒川橋梁架替事業起工式

◆**学童保育クラブ待機児童対策緊急要望** ◆新年度に複数の学童保育クラブで小学3年生以下の待機児童が生じ、かつしか区民連合として子どもの放課後を守るため、4月5日(水)に青木かつのり区長に対し「学童保育クラブの待機児童対策を求める緊急要望」を行いました。◆現在、区には学童保育クラブ・わくチャレをはじめ、子どもの放課後の総合的な計画が無い。現状検証と、方向性を示すことを求めています。



青木区長に要望書を手渡すかわごえ

2023 葛飾区議会議員 **かわごえ誠一**

主催:かつしか区民連合

タウンミーティング 学習会のお知らせ

参加費無料

テーマ: **だれ一人取り残さない地域社会に向けて**
～災害時から逆算して地域づくりを考える～

手話通訳あり

と き: 2023年 **6月21日(水)** 19:00～21:00 受付18:45

会 場: かつしかシンフォニーヒルズ 別館5階レインボー 定員50名

葛飾区立石6-33-1 久しぶりのリアル開催となります。ふるってご参加ください。

※今後の感染状況等で変更になる場合もあります。その場合はホームページなどで告知させていただきます。発熱など体調不良の方は参加を見合わせていただけますようお願いいたします。

講演: 被災地の現実・その時 “要配慮者” は...

～NGOによる災害支援の現場から・市民のソーシャルワークを考える～

講師: 弓削 恵則さん 特定非営利活動法人 Operation Blessing Japan 災害支援マネジャー

複合的な課題を抱えた方の支援について 報告: 葛飾区くらしのまるごと相談課より

葛飾区の災害時の要支援者への対応について 報告: 葛飾区危機管理課より

連絡・問合せ先 ■ かわごえ誠一 090-2932-7315 《e-mail》info@kawagoeseiichi.com

◆2019年の台風19号の避難所開設では多くの方が避難されましたが、障がい者や高齢者への支援が課題となりました。◆災害など非常時には、弱い立場の方々に特に負担が重くのしかかってきます。◆今回は、全国各地の震災や水害等の被災地でコミュニティ支援をしている国際NGO“OBJ”から講師をお招きし、被災地の現場で人々に起きたことを伺い、そこから、災害が起きる前から地域でできることについて学びます。◆また、様々な困りごとを抱える方を福祉など支援へつなげるために、新たに開設された「くらしのまるごと相談窓口」や災害対策など、区の取り組みも情報提供いたします。◆災害時にだれ一人取り残さない地域のために、日頃から支え合える関係をどうつくるか、ともに考えたいと思います。



弓削 恵則さん プロフィール

◆大阪市出身・仙台市在住・東日本大震災で被災後、国際NGOオペレーション・プレッシング・ジャパン(OBJ)で広報と緊急災害支援活動に携わる。◆現在は原発被災地でのコミュニティ支援、生活困窮者支援、市民によるソーシャルワークの活動などの地域防災にも取り組む。◆SOSの声をあげられない社会的に弱い立場にある人々への支援について発信している。



OBJホームページ URL

問合せ
連絡先

かつしか区民連合
〒124-0012 葛飾区立石5-13-1 葛飾区議会内
電話 03-3695-1111(代) FAX 03-3697-0137

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18 携帯電話 090-2932-7315
e-mail info@kawagoeseiichi.com



2023年2月28日の区議会第一回定例会においてかわごえ誠一が一般質問に登壇しました。区議会アーカイブは右QRコードからご覧下さい。



本会議で発言するかわごえ

1 区の個人情報保護と公文書管理について

かわごえ 公文書管理条例の制定と、専門家の関わりは？

区長 令和5年度中にアーキビストなどの専門家からなる準備委員会を設置し、令和6年度の条例施行へ進める。

かわごえ 昭和60年に発行された区史の電子化を！

総務部長 昭和60年に発行した区史の電子化については他の歴史的公文書の状況を鑑みて電子化を進める。

かわごえ 区制80周年で作成した区史デジタル版の更新と、今後の区制100周年に向けた地域情報の収集と管理を計画的に行うべき。

総務部長 区制80周年で作成したデジタル版区史の更新は総務課で行っているが、令和5年度からは区制100周年に向けて、アーキビストなどの専門家の意見も聞きながら、更新情報の検証や地域情報の収集、管理方法などを検討する。その他：個人情報保護法改正と匿名加工情報について、SNS等の扱いについてなど

2 将来を見据えた立石のまちづくりについて

かわごえ 立石駅北口再開発事業の今後の予定は？

街づくり担当部長 土地及び建物の明渡しを8月とし、準備工程を並行して進め、明渡し及び調査などが終了後、建物の解体や整地工事を行う。その後、令和6年6月に建築工事に着手し、令和10年10月に事業が完了する予定だ。

かわごえ 京成押上線の高架化工事が進むが、高架下の活用の検討状況は？

都市整備部長 高架下用地で、都及び区が利用できる部分は面積の15%であり、公共用に限られる。地域の意見を伺いながら、機を逸さないよう検討を進める。

かわごえ 立石再開発後のバス路線の検討をどのように進めるのか。特に現在の区役所前経由の路線や、周辺の路線の検証をすべきだ。

区長 京成連続立体交差事業により、バスの定時性・速達性の向上が見込まれ、路線の再編など、バス事業者と検討を進める。現在の「区役所」バス停は周辺住民も使用しており、現庁舎敷地活用の検討を踏まえ、バス事業者と協議を行う。

かわごえ 記録・記憶の継承のため、立石駅の図面や地区内の地図の保存、商店の看板や、踏切の警報機などをモニュメントとして保存の検討を！

教育次長 立石駅の図面や地区内の地図などは、関係部署の協力を得ながら、文化的価値や所有者の意向などを確認し、保存や活用について検討する。

かわごえ 立石の街の思い出作りの企画やイベントへの支援を！

教育次長 思い出づくりの企画やイベントへの支援については、他部署や地域団体などの取り組み状況を確認したうえで、必要性を検討し対応する。

他：立石のランドデザイン、再開発中・後の商店振興、自治町会のあり方など

3 誰一人取り残さない「くらしのまるごと支援」体制について

かわごえ 「くらしのまるごと支援体制」は、制度の狭間に陥りがちな課題を抱えた当事者や、家族など「ケアをする側」への支援の入り口として期待する。

区長 令和5年4月に、福祉部にくらしのまるごと相談課を新設し、様々な課題を抱える世帯からの相談を総合的に受け、アウトリーチ支援、伴走支援、関係機関や支援団体と協働した多機関連携支援を実施する。中高年のひきこもり、ヤングケアラー、ダブルケアなど、様々な相談を想定し、世帯を包括的に支援する。

かわごえ 区として「ケアをする側」を支援する方針を明らかにするために、ケアラー支援やくらしのまるごと支援を位置づける条例の制定を検討すべきだ。

区長 条例の制定について、より効果的な事業となるよう検討を進める。

かわごえ ソーシャルワークを担いあえる地域、声を上げやすい、声をかけやすい地域社会へ、地域活動と連携・協働して社会へつなげる支援が重要だ。

福祉部長 地域のボランティアグループや支援団体との連携協働を進め、団体の育成や活動支援の構築も検討を行い、地域の社会資源の基盤づくりを進める。他：インタークアセスメントの強化、法律の専門家・心理専門職の配置など

4 子どもの権利と子ども・子育て・若者支援体制について

かわごえ 子どもの権利条例制定の方向性を伺う。

区長 本年10月に、児童福祉審議会の権利擁護部会を設置する。条例では子どもの権利条約に基づく子どもの権利を定め、区や区民等の責務や権利保障について規定し、子どもに関する取り組みの推進や相談及び救済の規定を盛り込む。

かわごえ 若者支援について、ひきこもりやアンダークラスに陥るなど、若者の課題への支援体制を明確にし、次期計画に位置づけるべきだ。

子育て支援部長 社会的な課題の若者支援、ひきこもり状態や、不安定な就労など、いわゆるアンダークラスの状態に陥る若者への支援は、新設する子ども・子育て計画担当課を支援窓口とする。また、次の子ども・若者計画においても、若者独自の課題を明確し、子ども・若者支援地域協議会の意見を伺い策定する。

かわごえ ヤングケアラーなど複合的な要因において起きる課題に対して、子育て支援部だけでなく、様々な部署との連携が必要だ。

子育て支援部長 ヤングケアラーなど複合的な子どもの課題は「くらしのまるごと支援体制」を活用しながら、子育て支援部と学校、他機関との情報を共有し、子ども本人への支援と家庭全体への支援を関係部と一体となって包括的に行う。

かわごえ 父親支援へコミュニティ育成やピアサポートなど支援体制の整備を！

子育て支援部長 安心して出産・子育てできる環境づくりには母親支援のみでなく父親支援も重要だ。同じような環境の父親同士の自発的な集まりやコミュニティづくりを支援するなど、子育て中の父親支援について幅広く検討する。

他：認証保育所の不正受給について、児童相談所移管に伴う監査体制についてなど

5 誰一人取り残さない学びのための教育環境整備について

かわごえ 子ども読書活動を支援するため、子ども読書推進計画を定めるべき。

教育長 図書館運営の実務的な指針を盛り込んだ「区立図書館の基本的な考え方」の改定を検討し、その中に「子ども読書活動推進計画」の要素も取り入れる。

かわごえ 学校図書館機能・学校司書（学習センター）の活用の方角性を示せ。

学校教育担当部長 学習センターは学校ごとに取り組みに差があり、充実・活用を示したガイドラインにおいて具体的に定め、学習センターの活用を推進する。

かわごえ 不登校支援への教育委員会の基本的な考えを示し、学校との共有を！

学校教育担当部長 不登校は多様な要因や背景があり問題行動と判断してはならない。「不登校児童・生徒支援スタンダード」を策定し、学校が不登校児童・生徒に寄り添いアセスメントに基づく支援を行うため、学校への周知をはかる。

かわごえ 適応指導教室や、各校の校内適応教室の名称を変更してはどうか。

学校教育担当部長 現在、学校ごとに親しみやすい名称を工夫しているが、国の動向などを踏まえ、適応指導教室や校内適応教室の名称変更の検討をする。

かわごえ 日本語指導が必要な児童・生徒が一部の地域に集中する状況も生じている。「にほんごステップアップ教室」など拡充・増設を進めるべきだ。

教育長 日本語指導が必要な児童・生徒が多い新小岩地域において、新たに「にほんごステップアップ教室」の開室を検討する。

かわごえ 子どもの権利条例化を踏まえ、学校毎の校則の検討状況を示すべき。

教育長 生徒指導提要の改定を受け、令和5年4月から校則のホームページでの掲載を指示した。児童生徒の意見を踏まえた校則の見直しを働きかける。

かわごえ 学校給食の無償化にともない、アレルギーやハラル食、不登校など学校給食周辺の課題について、当事者に丁寧に対応するべき。

教育次長 アレルギーや宗教食への対応は各学校の状況を踏まえ、個別に対応し、不登校の児童・生徒も登校の際には安心して給食をとれるよう徹底する。

かわごえ 開かれた学校に向け、コミュニティスクール導入の検討を。

学校教育担当部長 学校のコミュニティスクール化は、課題を整理し検討する。

かわごえ 地域の課題を解決するための学び合いとして、講義形式のみでなく、ゼミナール形式での「区民大学ゼミ」などを導入してはどうか。

教育次長 講座内容に応じ、ゼミナール方式も含め効果的な方法を検討する。

かわごえ 柴又の文化的景観は、都市整備や観光、地域振興など多岐にわたる課題が山積している。重要文化的景観事務局機能の強化、体制整備が必要だ。

教育次長 令和5年度から、生涯学習課内に専担の係を設ける。今後、新たな組織を中心に庁内、関係機関との連携を深め、更なる推進に努める。

他：わくわくチャレンジ広場・学童保育クラブの環境整備、文化財保護など

6 環境政策について

かわごえ 二地域での地域間連携が示されたが、地域循環共生圏の効果は？

区長 地域循環共生圏は環境・社会・経済の分野を含めた持続可能な地域づくりで重要である。新潟県五泉市と秋田県鹿角市の森林を整備でカーボン・オフセットを行う。ゼロエミッションかつしかの実現に向けた取り組みの一つとなる。

かわごえ 「気候市民会議」を参考にし、区民の意見を取り入れるべきだ。

環境部長 気候市民会議は市民の負担や、審議会などとの役割分担、提言を実現する上でのプロセスにも課題がある。区民の意見を取り入れることは重要であり、先進事例などを参考にしながら、より効果的に取り組みを推進する。

かわごえ ビオトープとして整備された公園が放置されているが、再整備を！

交通・都市施設担当部長 「葛飾あらかわ水辺公園」は地域まちづくりや環境団体とワークショップを進め、管理運営面も含め検討する。「青戸南自然の広場」の再整備は持続可能な管理体制の整備に向けて、庁内関係部署と連携して取り組む。

かわごえ 小合溜でのボート計画は、環境面への配慮、試行した上で丁寧に実施すべき。水元公園の自然を生かした環境ガイドなどエコツーリズムの検討を。

産業観光部長 ボートは今年度検証のため、水元小合溜の「水辺ふれあいゾーン」エリアで実施する。土日など20日間程度の短期間での実施を予定し、自然環境団体などと丁寧な調整を図りながら進める。水元公園における環境ガイドなどエコツーリズムの可能性について、関係部と連携を図り、水元公園の自然環境団体などと意見交換し、検討する。他：鎌倉野草園の希少種の管理方針など